

Industrial Pesquera Santa Priscila (IPSP) への事業投資



2023年8月8日

三井物産株式会社（証券コード：8031）

概要

Industrial Pesquera Santa Priscila (IPSP) への事業投資

取得対価

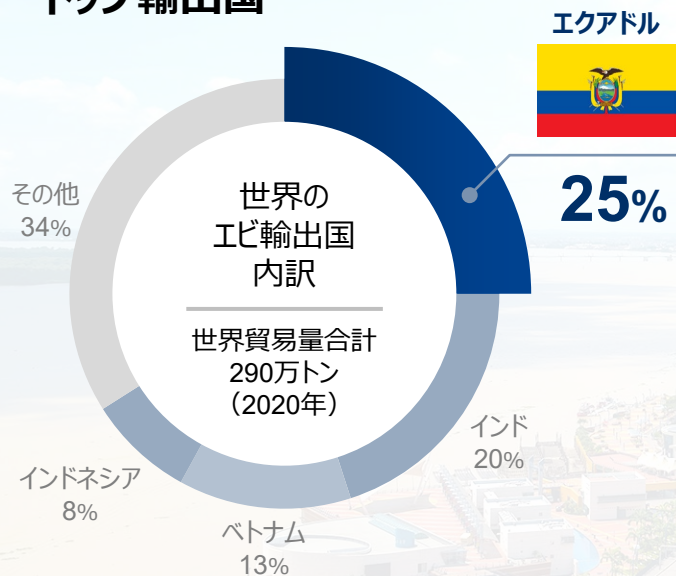
USD 360mil (約500億円)

クロージグ時期

2024年3月期中

エビ輸出量世界1位「エクアドル」

- 世界貿易量の25%を占める
トップ輸出国



- 年間通し26度以上の安定した海水温
- 大規模な粗放養殖が可能
- バナメイエビの原産地



エビの種類





社名

**Industrial Pesquera
Santa Priscila S.A.**

所在地

エクアドル / グアヤキル

設立

1976年

代表者

Santiago Salem
創業者 / Executive Chairman

従業員数

約16,000名

実績 (2022年度)

売上高: USD 1,400mil
(約1,960億円)

主要製品

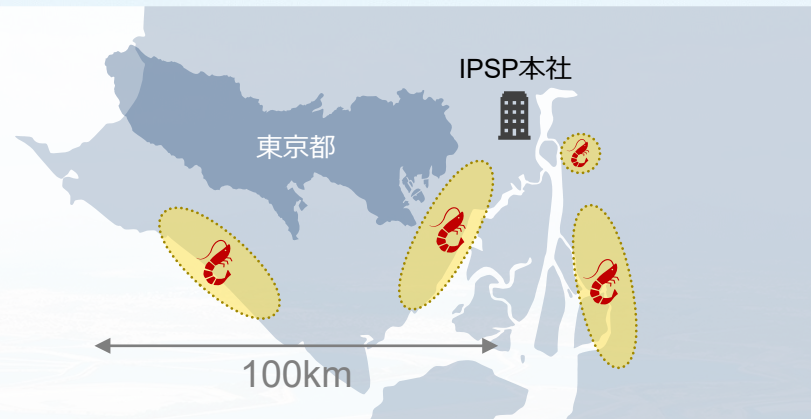
冷凍エビ、エビ加工品

主要マーケット

**中国、米国、欧州、
エクアドル国内**

世界最大のエビ養殖事業者

18,000haの養殖池を保有
自社養殖により100%トレーサビリティを確保した
安定的なオペレーション



エビ養殖事業のステージ

孵化



養殖



加工



冷凍エビやエビ加工品を、
中国・米国・欧州・エクアドル国内など
グローバルに販売



IPSP社 主力商品



有頭エビ



無頭エビ



むきエビ



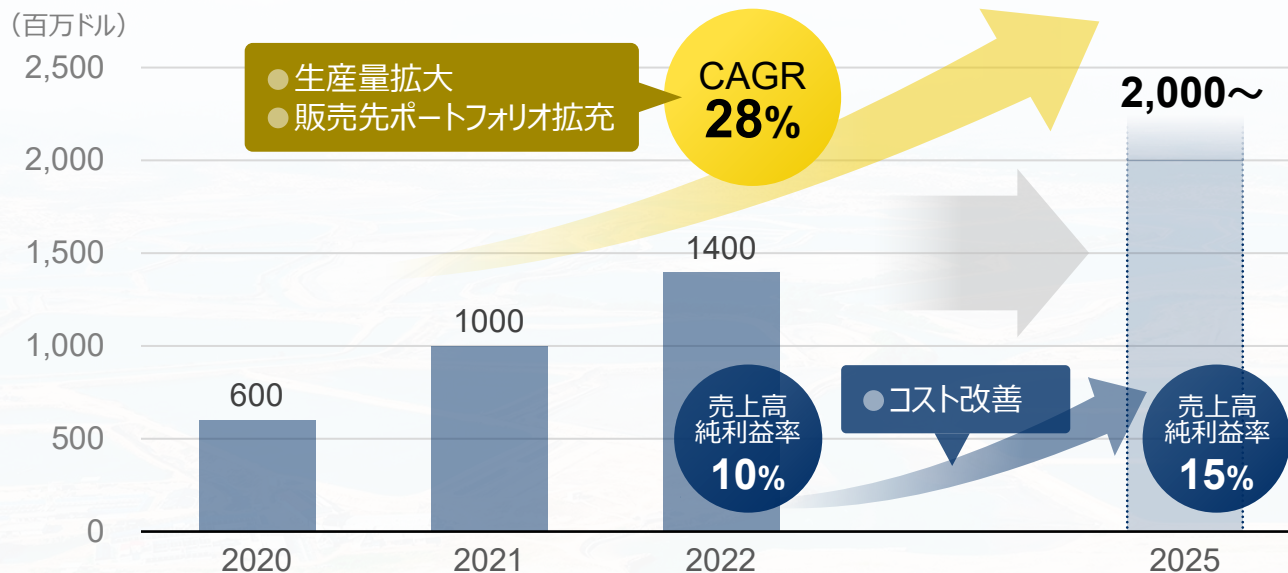
カクテルシュリンプ



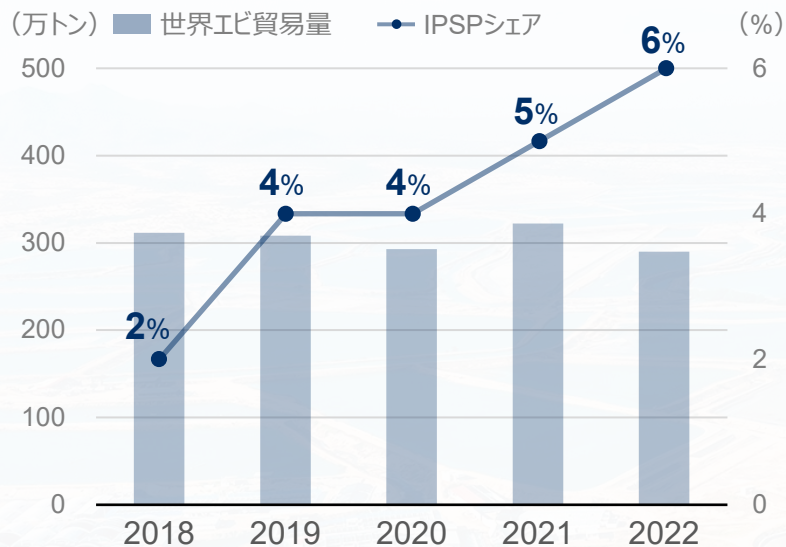
エビフライ



IPSP社(単体)の売上高推移



世界エビ貿易量に占めるIPSPの割合



出典:当社調べ

世界主要産地事業者の輸出量

(万トン)

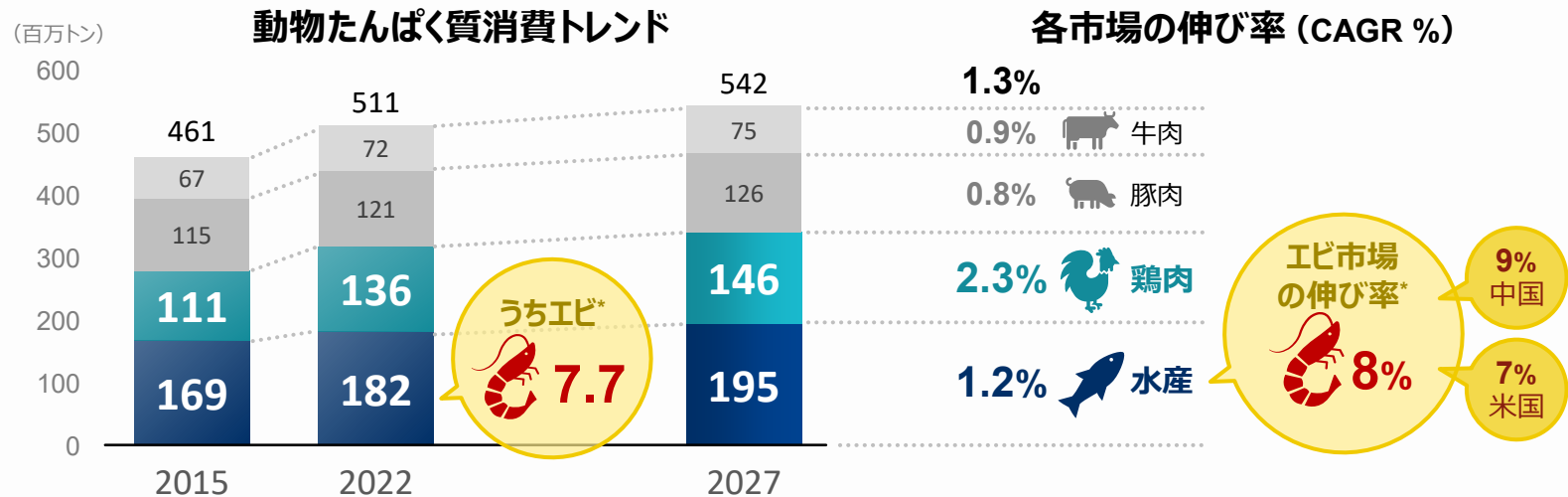
	2018	2019	2020	2021	2022
IPSP	7.7	10.9	11.2	14.7	17.7
第2位	6.2	7.8	8.8	9.7	9.5
第3位	3.7	5.2	6.4	7.1	9.3

出典:当社調べ

当社戦略における動物タンパク質事業群の位置づけ

世界の動物タンパク質需要

たんぱく質の需要は世界的に増加し続けており、特に成長率の大きい種別は**鶏肉とエビ**



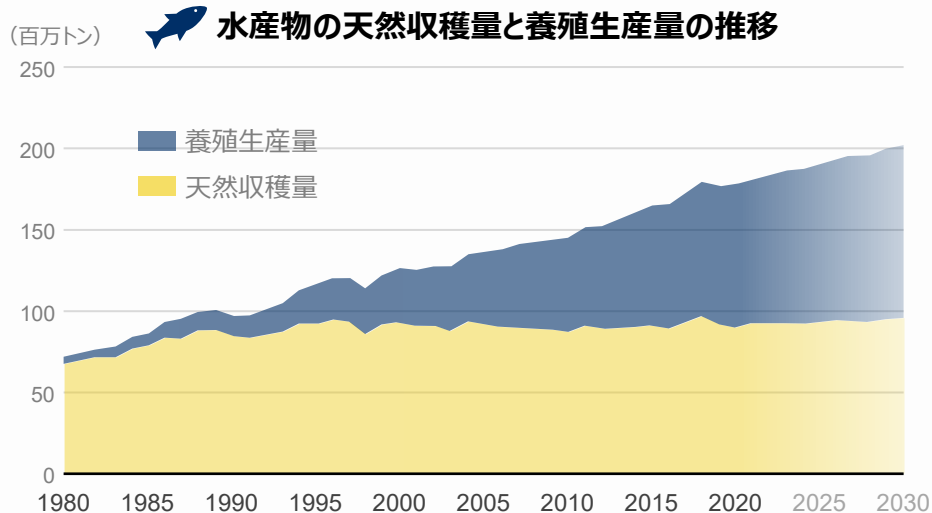
出典: OECD-FAO; Agricultural Outlook 2017-2018

* 当社調べ

当社戦略における動物タンパク質事業群の位置づけ

養殖事業の可能性

水産たんぱく質源としての天然資源は頭打ちも**養殖による生産拡大は継続**

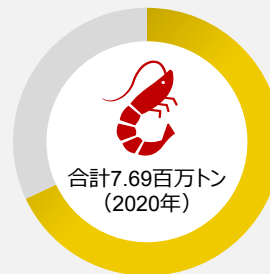


出典: FAO; The State of World Fishery and Aquaculture 2020

エビにおいては養殖が7割を占める



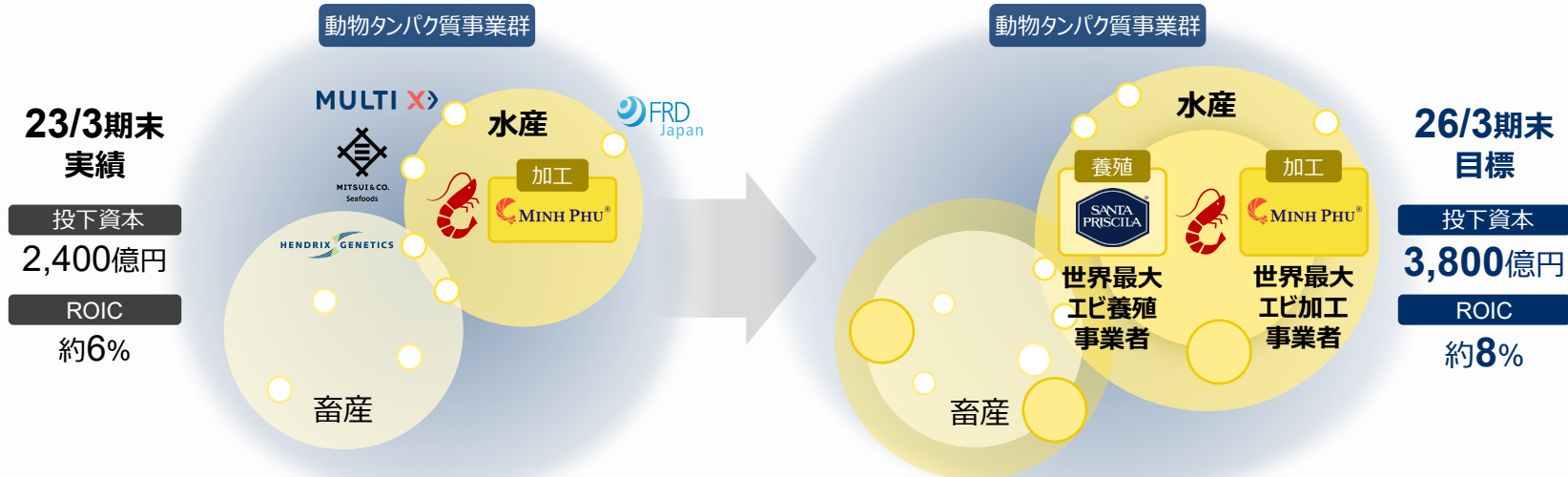
天然
32%



養殖
68%

動物タンパク質事業群の形成

成長分野(エビ・鶏)のバリューチェーンへの投資と事業間のシナジー追求



360° business innovation.



MITSUI & CO.